



地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向



「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけします。

月例調査レポート



長野市戸隠 戸隠神社随神門

1月のとある日、戸隠神社奥社に続く「随神門」の屋根には1メートルほどの雪。その門をくぐると、天然記念物にも指定されている樹齢400年を超える杉並木が続いています。ふと振り返ると、小雪がちらつく中、色とりどりの服装の人々で行列ができています。驚くことに人々の9割は外国人で、その多くは若者です。パワースポットと言われて久しい戸隠神社。現在はインバウンドの聖地になっているようです。

- 長野しんきん
月例調査レポート2
- 企業アンケート
「2025年の経営見通し」②6
- インタビュー
変革期の経営ビジョン8
- 北信濃
明治時代の風景 (35)10
小布施

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)



生産は2カ月ぶりの上昇 前年同月比は4カ月連続の低下

◇2024年11月の長野県鉱工業指数

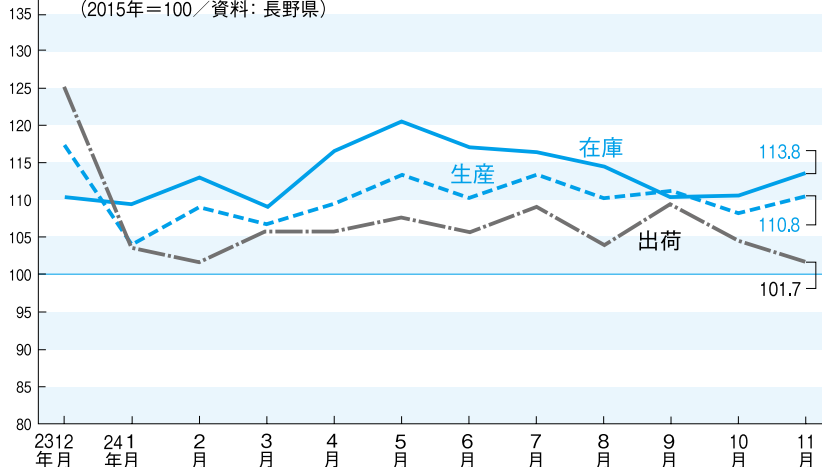
(速報：季節調整済指数)

生産は110.8(前月比+2.4%)で2カ月ぶりの上昇、出荷は101.7(同▲2.5%)で2カ月連続の低下、在庫は113.8(同+3.0%)で2カ月連続の上昇となりました。

◇前年同月比(原指数)

生産は113.9(前年同月比▲3.1%)で4カ月連続の低下、出荷は103.4(同▲9.1%)で4カ月連続の低下、在庫は116.3(同▲4.5%)で12カ月連続の低下となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移
(2015年=100/資料：長野県)



[生産] 上昇…化学、はん用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイスなど8業種
低下…情報通信機械、輸送機械、食料品など9業種

[出荷] 上昇…電子部品・デバイス、電気機械、食料品の3業種

低下…はん用・生産用・業務用機械、輸送機械、化学など14業種

[在庫] 上昇…はん用・生産用・業務用機械、化学、情報通信機械など7業種

低下…電子部品・デバイス、その他、食料品など9業種

月例調査

全産業の「売上高DI」は悪化

前回調査 2024年12月

◇1月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業除く)の売上高前月比は、増加した企業が31.2%、不変が40.2%、減少

が28.6%となり、売上高DI(増加-減少)は+2.6となりました。12月調査時の+8.1から5.5ポイント悪化しました。

●売上高(生産高・施工高)前月比「増加・不変・減少」割合(%)

矢印は前月調査比 (3ポイント以上の動き) 増加 → 不変 → 減少
改善 ⇨ 不変 ⇨ 悪化

全産業 (不動産業・旅館業を除く)	前月			改善 ⇨	不変 ⇨	悪化 ⇨
	増加	不変	減少			
前月	33.0 ↗	42.1 →	24.9 ↘	⇨	⇨	⇨
今月	増加 → 31.2	不変 → 40.2	減少 ↗ 28.6	⇨	⇨	⇨
製造業	30.2 ↘	38.1 ↘	31.7 ↗	⇨	⇨	⇨
建設業	29.5 ↘	39.4 →	31.1 ↗	⇨	⇨	⇨
卸小売業	33.3 ↗	45.3 →	21.4 ↘	⇨	⇨	⇨
サービス業	40.0 ↘	60.0 ↗	0.0 →	⇨	⇨	⇨
輸送業	33.3 →	33.3 →	33.3 →	⇨	⇨	⇨
外食業	33.3 ↘	33.3 ↗	33.3 →	⇨	⇨	⇨

197社(回収率89.6%)
30人未満 71.6%
30人以上 28.4%

189社(回収率85.9%)
30人未満 71.4%
30人以上 28.6%

63社(回収率80.8%)
30人未満 63.5%
30人以上 36.5%

61社(回収率87.1%)
30人未満 85.2%
30人以上 14.8%

42社(回収率91.3%)
30人未満 78.6%
30人以上 21.4%

5社(回収率71.4%)
30人未満 60.0%
30人以上 40.0%

9社(回収率100.0%)
30人未満 33.3%
30人以上 66.7%

9社(回収率90.0%)
30人未満 44.4%
30人以上 55.6%

製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

「生産高DI」一般機械・自動車部品が改善するも、全体は悪化

製造業の生産高前月比は、増加した企業が30.2%、不変が38.1%、減少が31.7%となり、生産高DIは▲1.5となりました。前月調査時の+13.2から14.7まで悪化しました。

●生産高前月比「増加・不変・減少」割合(%)

製造業	前月	35.3	42.6	22.1
	今月	増加 30.2	不変 38.1	減少 31.7
食料品	26.7	33.3	40.0	
金属加工	15.4	23.1	61.5	
一般機械	25.0	50.0	25.0	
電気機械	66.7	16.7	16.7	
自動車部品	25.0	75.0	0.0	
精密機械	40.0	20.0	40.0	

【業種別】増加…一般機械・自動車部品

横ばい…電気機械

減少…食料品・金属加工・精密機械

【機械稼働】上昇企業の割合 (19.4%) → 19.0%

低下企業の割合 (14.9%) → 19.0%

機械稼働状況(前月比) 下降

機械稼働率 (78.4%) → 83.5%

【受注状況】増加企業の割合 (20.9%) → 19.0%

減少企業の割合 (10.4%) → 14.3%

受注量(前月比) 下降

受注残高(2.2ヵ月) → 2.5ヵ月

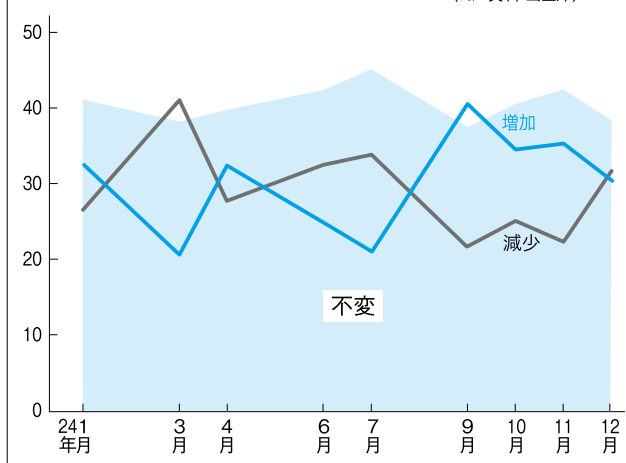
【受注基調】上昇企業の割合 (22.7%) → 21.0%

下降企業の割合 (13.6%) → 22.6%

受注基調(前月比) 下降

●生産高前月比「増加・不変・減少」割合の推移

(%/資料:当金庫)



企業からのコメント

☆★現状、一部の取引先様を除き一段落の状況ではあるが、4～5月頃から忙しくなると予想される(半導体、車載、電池関連)。 (半導体製造装置)

☆★受注状況は変わらず。同業他社で2025年4月以降値上げの情報が有り、動きを注視している。

(圧縮機)

★海外、特に米国・中国の経済情勢の低迷に加え、トランプ大統領の関税引上げの動向などによる生産調整もあり、受注先行き不透明。 (輸送機器)

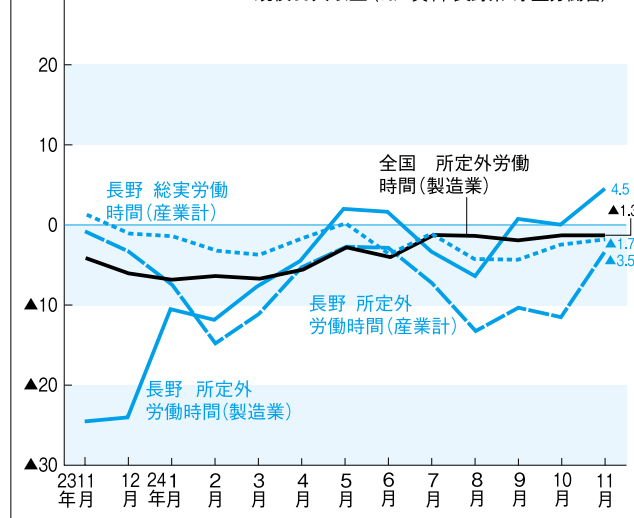
★電子部品に関しては、依然として先行きが不透明な状況が継続している。 (電子部品)

☆★インバウンドの賑わいが感じられるものの、土産品に関しては売上が比例していない気がする。

(そば)

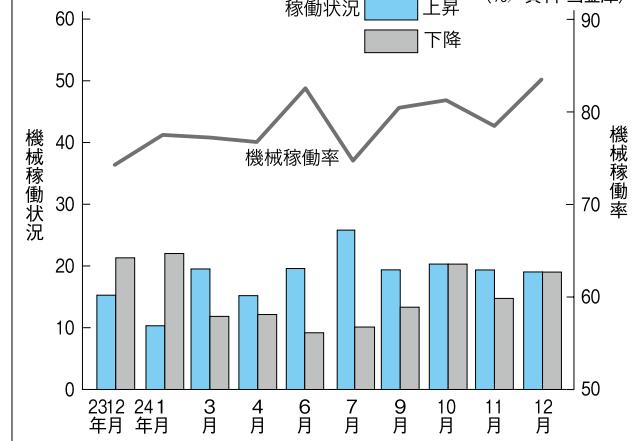
●長野県の労働時間の動き<前年同月比>

規模30人以上(€/資料:長野県・厚生労働省)



●機械稼働率と機械稼働状況前月比「上昇・下降」割合の推移

(%/資料:当金庫)



建設業

総合建設、土木工事、建築、各種設備

「施工高DI」総合建設が改善するも、全体は悪化

概況

建設業の施工高前月比は、増加した企業が29.5%、不変が39.4%、減少が31.1%となり、施工高DIは▲1.6となりました。前月調査時の+5.8から7.4^{ポイント}悪化しました。

●施工高前月比「増加・不変・減少」割合(%)

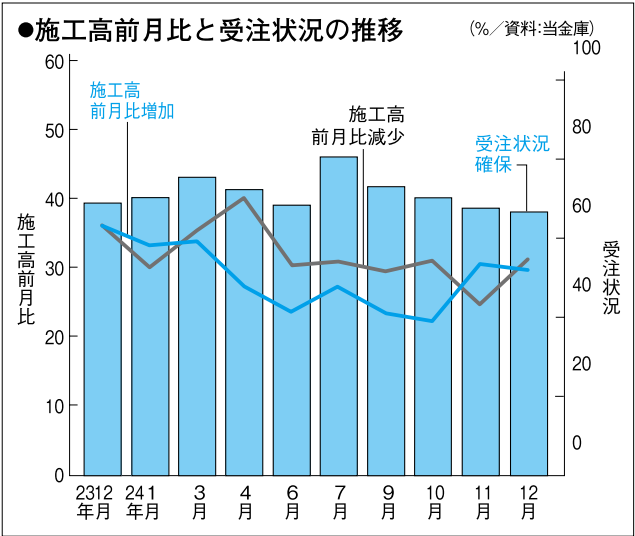
建設業	前月	30.4	45.0	24.6
	今月	増加 29.5	不変 39.4	減少 31.1
総合建設業		50.0	37.5	12.5
土木工事業		28.6	42.8	28.6
建築業		33.3	33.3	33.3
各種設備業		10.0	66.0	30.0

[業種別]

増加…総合建設
横ばい…建築
減少…土木工事・各種設備

[受注状況]

「多い・適正」企業の割合 (67.6%) → 66.7%
「少ない」企業の割合 (32.4%) → 33.3%
受注高月商倍率 (3.45カ月) → 3.09カ月



企業からのコメント

★昨年からずっと職人不足、大工不足が続いており、工事の進捗が遅れるケースが目立つ。(一般建築)

☆★昨年の建設資材の値上がりとともに、長期金利のアップ等で苦戦している。これから春に向かう中期待をしたい。

★引続き資材等が高止まりとなっている。また、週休2日に対応しながら人件費も増加している。(以上、総合建設)

4～12月の公共工事 (東日本建設業保証取扱分)					
長野県の4～12月の発注合計は、1,990.2億円(前年同期比+13.4%)となりました。前年比増加は「県」の551.2億円(同+7.8%)、「市町村」の616.2億円(同+7.3%)、「その他」の592.5億円(同+53.8%)、減少は「国」の226.1億円(同▲19.3%)でした。					
北信地区市町村の発注合計は185.5億円(同▲9.7%)で、うち長野市は88.6億円(同▲2.0%)でした。					
●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(2024年12月/2024年4月～12月累計)					
(単位=百万円/資料: 東日本建設業保証株)					
		2024年12月	前年同月比	2024年4月～12月	前年同期比
長野県	国	798	+57.3%	22,611	▲19.3%
	県	1,948	▲18.5%	55,117	+7.8%
	市町村	2,661	▲35.6%	61,621	+7.3%
	その他	192	▲79.9%	59,251	+53.8%
	合計	5,599	▲29.9%	199,017	+13.4%
北信地区	市町村	634	▲73.2%	18,546	▲9.7%
	(内長野市)	511	▲38.3%	8,860	▲2.0%

4～12月の新設住宅着工戸数						
長野県の4～12月の新設住宅着工戸数は8,611戸(前年同期比▲0.9%)でした。持家が4,823戸(同+0.8%)、貸家が2,400戸(同▲5.2%)、分譲が1,329戸(同+1.9%)、給与が59戸(同▲14.5%)です。						
北信地区の4～12月の新設住宅着工戸数は2,066戸(同▲12.6%)でした。持家が1,250戸(同▲0.5%)、貸家が535戸(同▲25.5%)、分譲が278戸(同▲27.4%)、給与が3戸(同▲50.0%)です。						
●長野県と北信地区の新設住宅着工戸数 (2024年12月/2024年4月～12月累計) (資料:長野県)						
		持 家	貸 家	分 譲	給 与	合 計
長野県	12月	569戸	243戸	127戸	3戸	942戸
	前年同月比	+12.9%	▲29.8%	▲3.8%	+50.0%	▲4.3%
	4～12月	4,823戸	2,400戸	1,329戸	59戸	8,611戸
	前年同期比	+0.8%	▲5.2%	+1.9%	▲14.5%	▲0.9%
	12月	174戸	42戸	47戸	0戸	263戸
北信地区	前年同月比	+55.4%	▲45.5%	+6.8%	——	+12.9%
	(内長野市)	96戸	42戸	27戸	0戸	165戸
	(前年同月比)	+60.0%	▲14.3%	▲10.0%	——	+18.7%
	4～12月	1,250戸	535戸	278戸	3戸	2,066戸
	前年同期比	▲0.5%	▲25.5%	▲27.4%	▲50.0%	▲12.6%

卸小売業

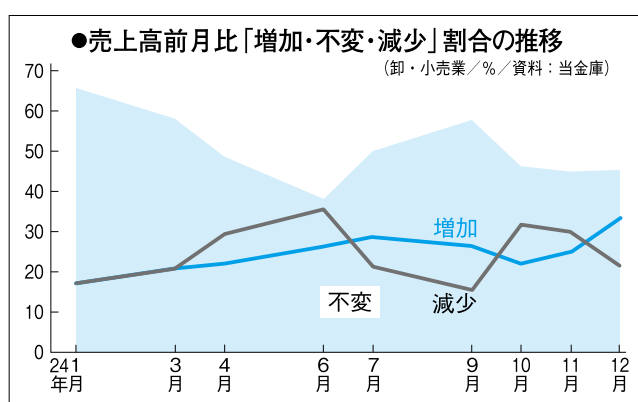
卸売業、小売業

「売上高DI」卸売、小売ともに改善

卸小売業の売上高前月比は、増加した企業が33.3%、不変が45.3%、減少が21.4%となり、売上高DIは+11.9となりました。前月調査時の▲5.0から16.9%改善しました。

●売上高前月比「増加・不変・減少」割合(%)

卸小売業	前月	25.0	45.0	30.0
	今月	増加 33.3	不変 45.3	減少 21.4
卸 売 業		33.3	50.0	16.7
小 売 業		33.3	41.7	25.0



【業 種 別】 上昇…卸売業・小売業

12月の消費者物価指数(長野市) 2020年基準=100

◇総合指数(確報値)……112.1(前月比+0.3)

(前年同月比+3.7%)(40カ月連続プラス)

上昇…「光熱・水道」「交通・通信」「食料」「諸雑費」

下落…「家具・家事用品」「教養娯楽」

「被服および履物」「保健医療」

◇生鮮食品を除く総合指数…111.2(前月比+0.2)

(前年同月比+3.2%)(41カ月連続プラス)

企業からのコメント

☆★目的商品のみの購入が多く、プラスアルファの売上が無い状況が続いている。(ケーキ卸小売)

☆★本当に必要なと思うもの以外は、いくら安くても買わない。品質が良く気に入ったものならば、多少値段が高くても購入する傾向がある。(衣料品小売)

★物価上昇やガソリン高騰等により家計が厳しいのか、お菓子の値段も上がっているの、なかなか売上が伸びてこない。(和洋菓子小売)

サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

「売上高DI」サービスが悪化、輸送は横ばい、外食は悪化

サービス業 売上高前月比は、増加した企業が40.0%、不変が60.0%、減少が0%となり、売上高DIは前月比20.0%悪化の+40.0となりました。

輸送業 売上高前月比は、増加した企業が33.3%、不変が33.3%、減少が33.3%となり、売上高DIは前月比横ばいの±0.0となりました。

外食業 売上高前月比は、増加した企業が33.3%、不変が33.3%、減少が33.3%となり、売上高DIは前月比22.2%悪化の±0.0となりました。

観光(旅館)業 入込数は前月比3.3%の減少、前年同月比でも9.9%の減少となりました。

不動産業 需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」計は20.7%減少の22.2%、「引合いやや増加」は44.4%増加の44.4%でした。

企業からのコメント

★石油元売への政府からの補助金が12月に5円/ℓ、今年1月にさらに5円/ℓ減額となり、実質燃料コストが大幅アップし、採算面に大きなダメージがある。(運輸)

☆例年、年末年始は稼働率は減少するものの、この年末については高稼働であった。(旅館)

●売上高前月比「増加・不変・減少」割合(%)

サービス業	前月	60.0	40.0	0.0
	今月	増加 40.0	不変 60.0	減少 0.0
輸送業	前月	33.3	33.3	33.3
	今月	33.3	33.3	33.3
うちタクシー業	前月	50.0	0.0	50.0
	今月	28.6	42.8	28.6
うち運輸業	前月	55.6	11.1	33.3
	今月	33.3	33.3	33.3

北信地区の景気判断 **+57.1** [良い]61.9% [悪い]4.8%

自社の業況が上向く転換点 「改善の時期は分からない」47.1%

アンケート
2025年の経営見通し ②
2024年12月調査

北信地区の景気判断

昨年同期に比べ79.6%の大幅改善

「北信地区の景気を、どのように感じているか」を聞きました。

全産業で見ると、「良い」(2.9%)と「やや良い」(59.0%)を合わせた[良い]は61.9%、「やや悪い」(4.8%)と「悪い」(0.0%)を合わせた[悪い]は4.8%、「どちらともいえない」は29.0%でした。[良い]から[悪い]を引いた北信地区景気判断DIは+57.1となり、昨年同期(▲22.5)に比べ79.6%の大幅改善となりました。

従業員規模で見ると、30人未満のDI+52.3([良い]58.2%・[悪い]5.9%)に対して、30人以上のDIは+69.1([良い]70.9%・[悪い]1.8%)となりました。

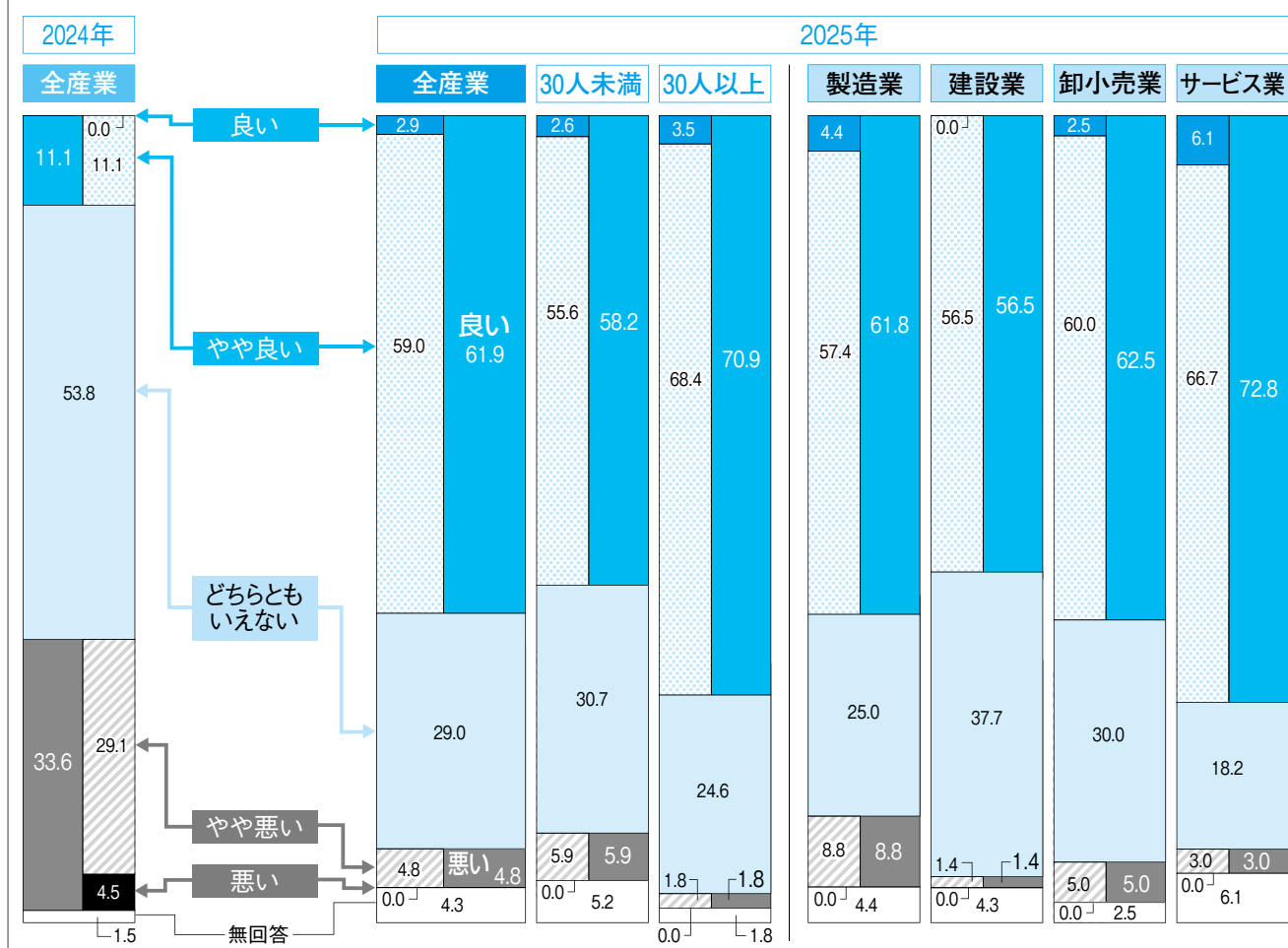
◇4業種

製造業 景気判断DIは+53.0([良い]61.8%、[悪い]8.8%)で、30人未満が+40.5、30人以上が+73.1です。

建設業 景気判断DIは+55.1([良い]56.5%、[悪い]1.4%)で、30人未満が+53.5、30人以上が+63.6です。

卸小売業 景気判断DIは+57.5([良い]62.5%、[悪い]5.0%)で、30人未満が+51.5、30人以上が+77.8です。

●「北信地区の景気」を、どのように感じているか(%)



サービス業 景気判断DIは+69.8（[良い]72.8%、[悪い]3.0%）で、30人未満が+72.7、30人以上が+63.6です。

業況が上向く転換点

「改善の時期は分からない」47.1%に

「自社の業況が上向く転換点は、いつ頃になると見通しているか」を聞きました。

全産業で見ると、「すでに上向いている」が9.5%、「6カ月以内」は18.1%、「1年後」が12.4%、「2年後」が2.9%、「3年超」が3.3%、「上向きは困難」が2.9%、「業況改善の時期は分からない」は47.1%となりました。

従業員規模で見ると、「すでに上向いている」は、30人未満の7.2%に対して30人以上は15.8%となり、30人以上の方が8.6ポイント高い結果となりました。逆に「6カ月以内」「1年後」は、30人以上の方がそれぞれ8.0ポイント、7.0ポイント低い結果となりました。

◇4業種

製造業 「6カ月以内」(22.1%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方「業況改善の時期は分からない」(41.2%)は他業種に比べ最も低くなっています。

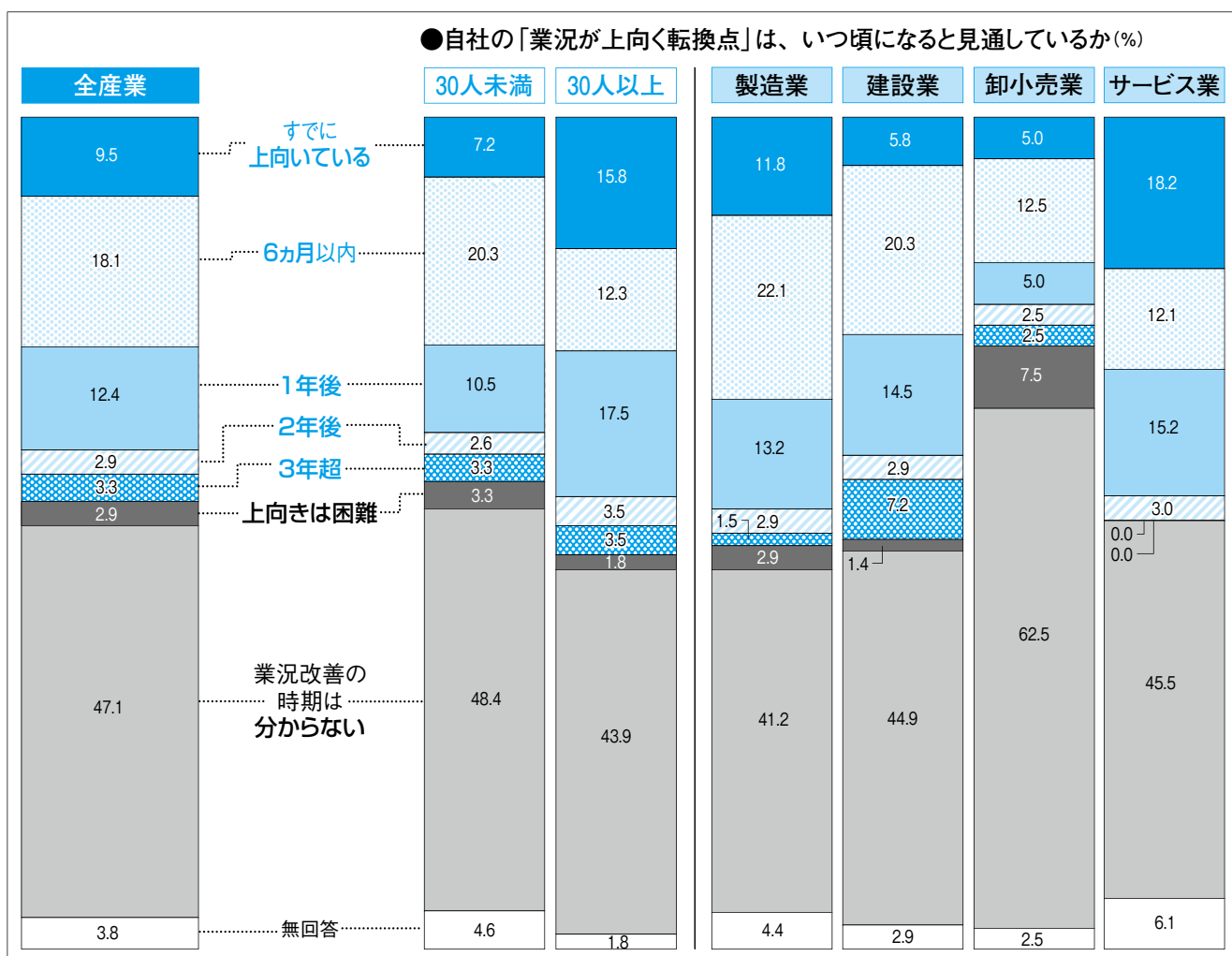
建設業 「3年超」(7.2%)は他業種に比べ最も高くなりました。

卸小売業 「上向きは困難」(7.5%)、「業況改善の時期は分からない」(62.5%)は他業種に比べ最も高くなりました。他方「すでに上向いている」「1年後」(ともに5.0%)、「2年後」(2.5%)は他業種に比べ最も低くなっています。

サービス業 「すでに上向いている」(18.2%)、「1年後」(15.2%)、「2年後」(3.0%)は他業種に比べ最も高くなりました。他方「6カ月以内」(12.1%)、「3年超」「上向きは困難」(ともに0%)は他業種に比べ最も低くなっています。

◇次号は「業界の市場の将来性」と

「重点的に取り組みたい経営課題」を予定





一枚の布から「ちょうどいい」を形にしています

株式会社 ヨシテンキャンバス
代表取締役 吉原 進太郎さん

●創業の経緯をお聞きます…

私の父・吉原実根男（現・会長）が、帆布製品製造業を生業としている小諸市内の会社で修行して、1985（昭和60）年、長野市信州新町に帰郷。個人で「吉原シート内装」を創業したのが始まりです。

その後、1989（平成元）年に、（有）ヨシテンキャンバスとして法人設立。2008（平成20）年に長野市安茂里小市に移転して、株式会社に組織変更しました。2021（令和3）年に展示スペースを併設した自社縫製工場を大豆島に移転開業しました。

●社長になられた経緯をお聞きます…

私は学校を卒業後、ものづくりが好きだったことと父の薦めもあり、長野市内の内装会社に入社しました。そのときは、父の会社を継ぐことは考えていませんでしたが、3年経った頃に父から「そろそろ戻らないか？」との話があり、2000（平成12）年に当社に入社、その後、2013（平成25）年に取締役就任、2021（令和3）年、大豆島への移転と同時に代表取締役に就任しました。

●業務の概要をお聞きます…

業務は多岐にわたっており、大きいものだとテント倉庫や店舗のテント、身近な物だと椅子の生地張替え業務があげられます。お客様のニーズに合わせた素材の提案、設計、設置にいたるまでを一貫で行っていますので、安心してご利用いただいています。これらに付随して鳥害・虫害対策用ネットの製作や、最近ではボルダリングなどを主軸としたセーフティーマット

の製作も手掛け、全国のジムや個人のお客様にご提供しています。

テントやシートを含めた製造業務はお客様の要望を細かくお聞きすることから始まります。したがって“オーダーメイド”が基本ですので、取り付け場所で調査・測量した後は設計を行い、場合によってはイラストイメージで確認していただきます。その設計に基づき、さまざまな種類の生地を取り揃えた専用工場以最も適切な生地を提案して、1級技能士資格を持つ職人が製作・加工を行います。大豆島に移転した翌年にはテント業務に欠かせない鉄骨加工業務を内製化するため、新たに鉄骨加工工場を設けて自社で加工し製品化までを行うようにしました。これにより、自社での一貫生産・施工が強化され、より様々なお客さまの要望に応えられる態勢が整いました。一貫生産・施工できるのは長野市内では当社だけだと思います。

私は人との繋がりを大事にしています。父の時代はどちらかといえば加工や施工技術が評価され色々な業者さんから仕事依頼がありましたが、どうしてもエンドユーザーさんと直接話せる機会が少なく、最良の提案が来ているのか不安がありました。

入社してから入会した長野青年会議所やテントシート装飾組合に顔を出すようになり、自社のことだけでなく地域のことや業界全体のことを利害関係なく議論することで、横の繋がりも増えました。同時に今まで接する機会のなかった様々な業種の友ができ、経営のヒントや刺激をもらっています。現在では直接的な提案による受注も増えて、機能も重視したオーダーメイド製品としてのご提供、それが当社の強みになっています。また、当社の社員年齢は20～40歳代が多く、志の高い意見を言ってくれるので、その中からのアイデアも日々の業務に活かすようにしています。

●今後の方針や夢をお聞きます…

当社の仕事は、普段生活していく中でさまざまな困りごとから「防ぐ」をご提案ご提供することだと思っています。分かりやすく言えばマットはケガを防ぐためのものです。また、近年では温暖化の影響で特に夏の気温が上昇しているので、店舗・工場内の働く環境や子供たちの屋外活動などの環境を日除けや遮熱シートを利用して熱から防ぎます。店舗・工場・事務所内のシート間仕切りなどで暑さ寒さを分断し冷暖房費を抑えたりするケースも増えています。害虫や鳥の糞害からの被害を防ぐ防虫・防鳥対策ネットの需要も増えつつあります。

取り組んでいる業務の殆どが皆さんの生活に直結しています。今後も普段の何気ない困りごとから様々な提案をしていきたいと思っています。



事務所外観



応接室

ニッチな業界ではあるかもしれませんが、もっとテント・シートの特性を知ってもらい、時代に合わせた生活のお役にたてる企業になれるように邁進していきます。



鉄骨加工工場



生地縫製工場

●事業の概要

創 業 1985(昭和60)年
資本金 500万円
代表者 吉原進太郎
従業員 10名(男7名・女3名)
業 務 繊維品製造業
事業所 長野県長野市大豆島5959-3
U R L <https://yoshiten.jp/>

●沿革

1985(昭和60)年 吉原実根男が個人で創業
1989(平成元)年 (有)ヨシテンキャンパス設立
2008(平成20)年 長野市安茂里小市に移転
2008(平成20)年 株式会社に組織変更
2021(令和3)年 長野市大豆島に移転
2021(令和3)年 吉原進太郎が代表取締役役に就任

北信濃 明治時代の風景

(35)小布施

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



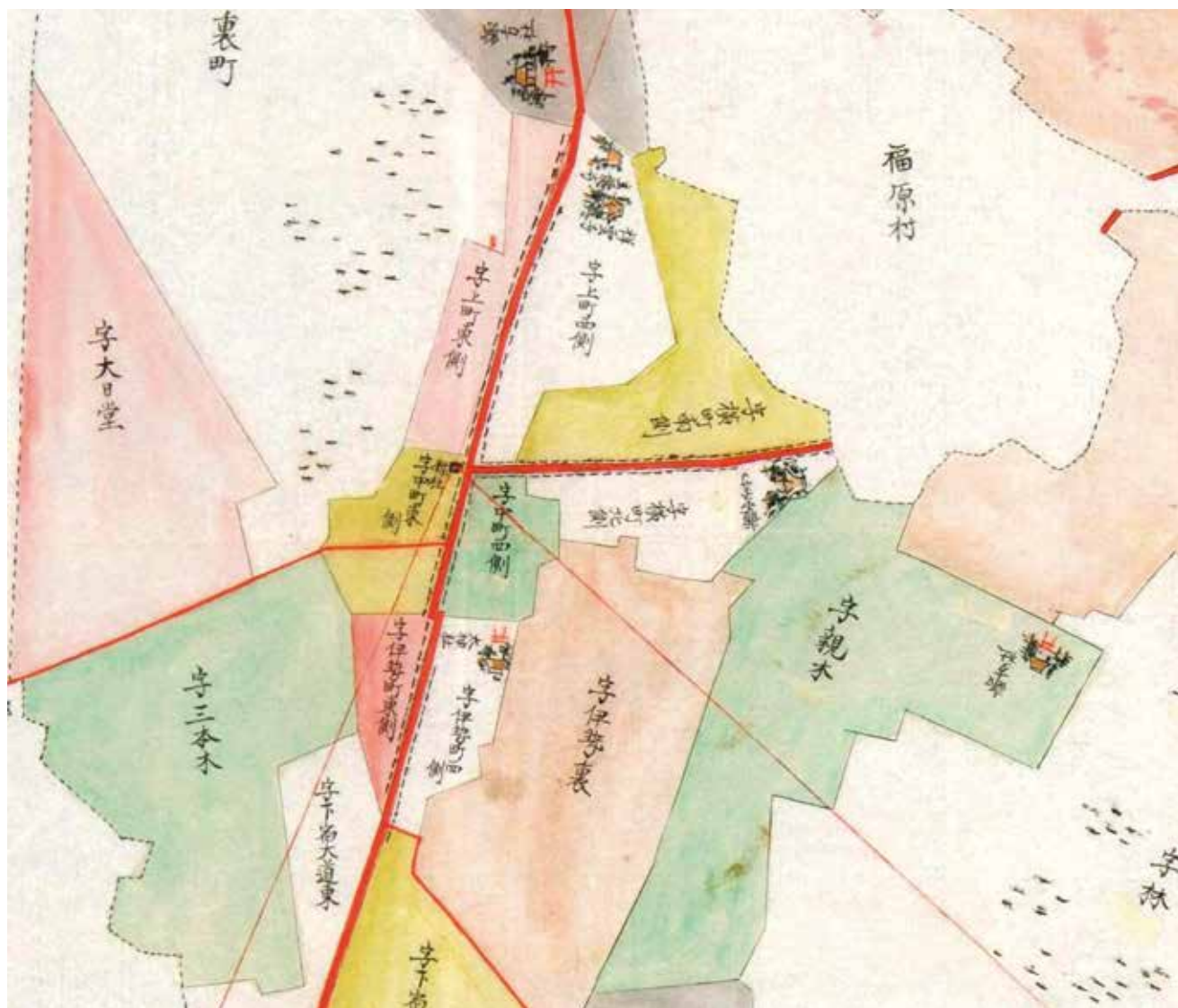
この図は、明治10年(1877)代に作られた「上高井郡小布施村」の図の主要部分です。高井郡は、明治12年(1879)1月に上高井郡と下高井郡に分割されたので、この図はその後に作られたことが分かります。上が南、下が北です。中央の丁字路に「標柱」があって、そこから右下と左下に細い直線が延びています。これは山の方角を示しています。右下は飯縄山の方角、左下は高社山の方角です。

小布施町ができるまで

この小布施村は、現在の小布施町大字小布施となっている地域です。この村は、明治22年(1889)年に周囲の6村と合併して、新たな小布施村とな

りました。そしてこの小布施村は、戦後の昭和29年(1954)2月に小布施町となりました。同年11月には東側にあった都住村を合併して、現在の小布施町が出来上がりました。

長野県には77の市町村がありますが、その中で小布施町が最も面積が狭いことは、ほとんど知られていません。わずか19km²余で、長野市の2パーセントしかありません。小川村の面積の3分の1にも満たないのです。それにもかかわらず存在感があるのは、名産の栗や、葛飾北斎との関係を宣伝して、観光客の招致に成功しているからでしょう。



「上高井郡小布施村」の図（長野県立歴史館蔵）

洪水に苦しんだ歴史

この図を見ると、右上に「福原村」(小布施町大字福原)が湾のように大きく入り込んでいます。またこの図ではカットされていますが、右下(北西)に遠く離れて、千曲川の両岸に小布施村の飛び地があります。現在でも国道18号(アップルライン)の豊野交差点から浅川の橋までの間は小布施町大字小布施なのですが、小布施橋を渡った小布施橋東交差点付近は小布施町大字山

王島です。このように旧小布施村が複雑な形をしているのは、千曲川と松川の氾濫に苦しんできた歴史を物語っているのでしょう。

小布施は須坂市との間を流れる松川の扇状地にあって、その氾濫に悩まされてきました。しかし江戸時代初期に「千両堤」と呼ばれる堤防を築くなどして松川の治水に成功すると、ようやく現在の小布施につながる町づくりが始まりました。

交通の要地

小布施の山沿いには、岩松院、浄光寺といった古い寺院があります。中世の道は山沿いを通っていたのでしょう。江戸時代に入ると、こうした道に代わって図を南北に貫く街道が造られました。これが千曲川の右岸を通る谷街道で、現在は国道403号となっています。またその支道の谷脇街道が西から来て、丁字路となっています。

こうした交通の要地に、谷街道沿いに上町、中町、伊勢町が、谷脇街道沿いに横町が形成されました。図をよく見ると家々が点で示されていて、街道沿いに家々が建ち並ぶ、いわゆる^{がいそん}街村になっていることが分かります。また中町と伊勢町の間は直線ではなく、小さなクランクになっています。こうしたクランクは宿場町や城下町でよく見られるもので、これも計画的に町づくりが行われた結果なのかもしれません。現在も、安市が行われる皇大神社前付近で、道がゆるやかなクランクになっています。

六斎市

小布施の町では商業が盛んになり、六斎市が行



高井鴻山記念館に残る鴻山の書斎^{ゆうぜんろう}悠然楼

われました。六斎市というのは月に6回行われる市で、小布施の場合は毎月3日、8日、13日、18日、23日、28日に行われました。小布施町は現在もその伝統を大切にしてい、「小布施六斎市」は毎年秋に行われるイベントの名称となっています。もっともこうした市は各地にあって、須坂や中野は九斎市でしたし、長野の善光寺門前では十二斎市が行われていました。

小布施の栗

松川の扇状地にある小布施は水田の開発が難しく、土地に適した作物として栗の栽培が盛んになりました。「林」「親木」といった字名も、栗林と関係があるとされています。「林」には松代藩の栗の「御林」があって、栽培された栗が藩を通して幕府にも献上されました。

栗菓子とは、文化年間(1804~17)に中町の塩屋桜井幾右衛門が栗落雁を製造したことに始まると伝えられています。加賀藩が進物に用いたことから知られるようになったといえます。

高井鴻山

小布施の商業が発展するにしたがって、豪商が生まれました。その一人で自らも絵を得意とした高井鴻山(1806~83)は、葛飾北斎を小布施に招いたことで知られています。北斎は天保13年(1842)以降、何度も小布施を訪れ、町の屋台の天井絵や、岩松院の天井絵などを手掛けました。慶応元年(1865)には、絵師の河鍋曉斎(1831~89)が鴻山のもとに滞在しています。

3月号は「長野市若里」の予定です。

◆日常生活の「悩みや不安」

「感じている」69.9% 「感じていない」21.8%

「日常生活の中で、悩みや不安を感じているか」を聞きました。

「悩みや不安を感じている」と答えた人は69.9%、「悩みや不安はない」は21.8%で、約7割の人が「悩みや不安を感じている」という結果になりました。

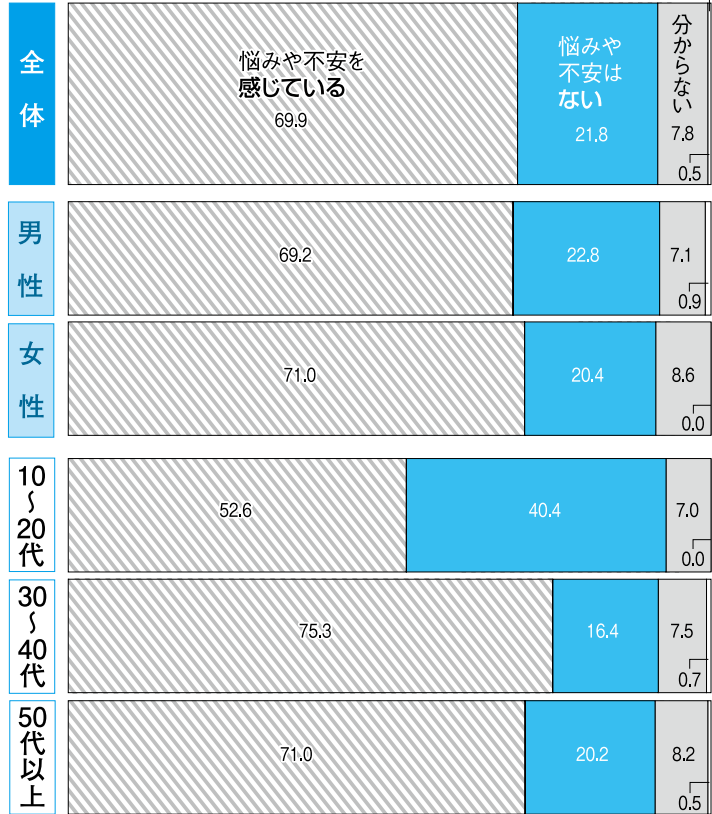
男女別で見ると、「悩みや不安を感じている」人は、男性69.2%、女性71.0%となり、僅差ですが女性の方が高い結果となりました。

年代別で見ると、「悩みや不安を感じている」人は、10～20代52.6%、30～40代75.3%、50代以上71.0%となり、働き盛り・子育て世代である30～40代で「悩みや不安を感じている」人の割合が高くなっています。

〈当金庫・2024年12月調査〉

●日常生活の中で「悩みや不安」を感じているか(%)

無回答



●みなさまの税務相談のご案内 [3月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
3月 4日 火	城北支店 (若槻支店)	柳原支店 (東長野支店)	3月 18日 火	若穂支店	小布施支店 (中野支店)
6日 木	南支店 (七瀬支店)	吉田支店 (古里支店)	19日 水	屋代支店 (稲荷山支店)	戸倉支店 (上山田支店・坂城支店)
7日 金	更北支店 (松代支店)	伊勢宮支店 (石堂支店)	24日 月	大門町支店 (桜枝町支店)	善光寺下支店 (権堂支店)
11日 火	篠ノ井支店 (川柳支店)	川中島駅前支店 (川中島支店)	26日 水	本店営業部	
12日 水	大豆島支店 (長池支店)		27日 木	本部	
14日 金	墨坂支店 (須坂支店・太子町支店)	飯山支店 (山ノ内支店)	28日 金	本部	



長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <https://www.nagano-shinkin.jp/>

